

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	コー ド	手法実施内容	事業名	課室名	
アプローチ 6					
行政評価システムの構築と運用					
政策・施策や事務事業について、「計画を立てて実行し、その成果を評価して次の計画に反映させる」というマネジメント・サイクルを確立し、行政資源の効率的な配分を図るとともに、評価結果の公表によって説明責任を果たすため、生活者の視点に立った成果重視の行政運営を基本的な視点とする行政評価システムを構築し、運用を行います。	行政評価システムの構築と運用	610			
	・事務事業評価システムの運用	611	1579事業の評価を実施し、そのうち39事業について外部評価を行いました。今後も、行財政資源の有効配分実現のため、予算との連携強化を図っていきます。		総務局 改革推進室
	・政策評価システムの構築	612	児童生徒約3000人に予備調査を実施し、効果測定さいたま市バージョンを作成しました。 都市経営戦略会議における「予算編成に係る集中審議」において重要政策事業及びその概算事業規模を決定する過程を政策評価システムと位置づけ、「都市経営戦略会議」における集中審議を経て重要政策事業を決定するとともに、これらの事業に予算を重点配分しました。	小・中一貫「潤いの時間」の展開	教育委員会 指導1課 指導2課
	・行政評価システムと予算編成や総合振興計画の進行管理との連携	613	政策、改革、財政の各部門が一体となり、事業の「選択と集中」による「新予算編成システム」の構築を構築しました。		政策局 都市経営戦略室
	・市民との協働による行政評価	620			財政局 財政課
	・行政評価システムに関する情報公開と情報提供	621	市民への説明責任の向上を図るため、前年度決算や次年度予算との関連を強化するとともに、評価表の公表を9月上旬と3月中旬の2段階に分け実施しました。なお、全事務事業の評価表を各区情報公開コーナーに配架し、外部評価を行った39事業をホームページに掲載して情報提供を行いました。		総務局 改革推進室
	・行政評価システムにおける市民との連携	622	学識経験者等による第三者評価を実施し、評価制度や事業の方向性などについて意見を求めました。より市民にわかりやすい評価表や興味をひく公表方法等を研究しています。		総務局 改革推進室